思う 誰かを 今日も
odakyu

NEWS RELEASE



第２６－３１号　　２０２６年１１月９日

２０２９年３月就役に向け、新型ロマンスカー（８０００形）製造に着手
国内最大級の幅広シートや、グループ向けシートなど多様な座席を導入
～その時々の利用目的や気分に寄り添う、新たな移動体験へ～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区　社長：鈴木 滋）は、２０２９年３月就役に向けて開発を進める新型ロマンスカー（８０００形）について、３編成の車両製造とともに、「展望グループシート（仮称）」や「ゆったりシート（仮称）」など、新たな座席種別を含む各座席の概要について決定しましたので、内外観イメージとあわせてお知らせします。

新型ロマンスカーは、「きらめき走れ、ロマンスカー」を開発コンセプトに、詳細設計を進めています。箱根をはじめとした沿線への観光はもちろん、通勤・通学や日常のお出かけまで、お一人からグループでのご利用まで、その日、その時の移動ニーズに応える４種の座席をご用意します。



展望グループシート（仮称）イメージ



ゆったりシート（仮称）イメージ

新たな種別「展望グループシート（仮称）」は、ご家族やご友人との旅の中で、同じ景色を囲みながら会話を楽しみたいというニーズに応えます。４名掛けの同シートは、新型ロマンスカーの特長である大きな円形窓に沿って設ける座席で、天井から足元まで続く眺望をグループで満喫いただけ、移動時間そのものが特別な体験として心に残る空間です。（４号車）

もう１つの新たな種別は、２・１列の座席配置とし、国内鉄道車両で最大級※の座席幅となる「ゆったりシート（仮称）」です。ゆとりある座席幅に加え、独立感を高めた座席形状を採用することで、小さなお子さま連れの方や荷物を多くお持ちの方、お一人で仕事や読書などに集中したい方など、それぞれのお客さまが自分らしい時間を快適に過ごせる移動空間を実現します。（１、７号車）

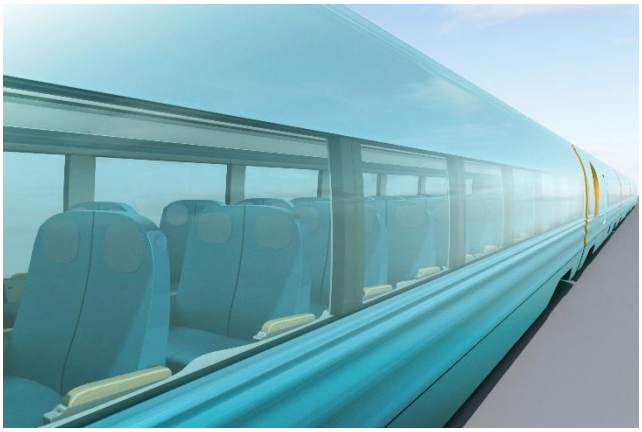
※　当社調べによる。

さらに、これまでのロマンスカーが大切にしてきた魅力を受け継ぐ「展望席※」と「一般席」でも、新型ロマンスカーならではの移動体験を追求します。展望席では、より広がりのある前面展望によって、風景に引き込まれるような特別な乗車体験を提供するほか（１、７号車）、一般席においても、明るく開放的でやわらかさを感じられる空間づくりをし、ロマンスカーらしい快適な乗り心地を体感いただけます。

※　展望席を備えるロマンスカーは、現在２編成運行している特急ロマンスカー・ＧＳＥ（７０００形）と新型ロマンスカーの運行開始により全５編成になります。（２０２９年３月に２編成、２０２９年度に１編成の運行開始を予定しています。）

新型ロマンスカーは「水」をテーマに設計を進めています。これは、小田急グループの事業エリアは、川や海、湖などの豊かな水に恵まれ、沿線地域に潤いや活気をもたらしてきたことを背景に、新型ロマンスカーも、人・地域・自然をつなぐ存在でありたいという思いから生まれた発想です。

車両の内外装には、光を受けてきらめく水面を想起する色彩や、広がる波紋、雫など、水の多様な表情を表現するデザインを随所に取り入れます。車両全体を通じて、その時々のお客さまの移動時間に寄り添い、乗るたびに新たな発見や楽しさに出会える、お客さまに“きらめき”を感じていただける車両を目指し、このたび車両の製造に着手しました。引き続き、２０２９年３月の就役に向けて着実に設計・製造を進めてまいります。


外観・一般席イメージ


展望席イメージ

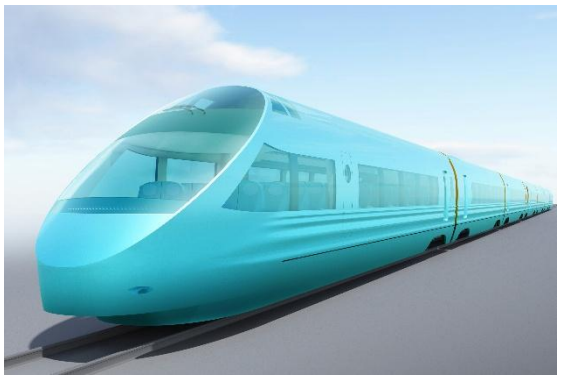
新型ロマンスカー（８０００００形）の詳細は、下記のとおりです。
（今回、新たにお知らせする項目には★を付します）

記

１　就役予定　２０２９年３月

２　車両形式　８０００００形

３　開発コンセプト　「きらめき走れ、ロマンスカー」
陽の光をきらきらと反射しながら波紋を広げる水面のように・・・
乗るたびに心が躍り、新しい発見や出会いがある。世代を超えて思い出を重ねていける。そんな人の心が動く瞬間を「きらめき」と捉え、これを波紋のように大きく大きく広げていきたい・・・
という思いを込めて、新型ロマンスカー開発を進めています。


先頭車イメージ

４　座席種別★　⑴ 一般席
２～６号車に２８０席超設けます。明るいブルーグリーンの座席シートと木の質感を生かした肘掛けを採用し、明るく開放的でやわらかさを感じられる車内空間を演出します。

⑵ 展望席
１号車、７号車の先頭に各１６席、計３２席設けます。従来よりも広がりのある前面窓から、ダイナミックな車窓風景を臨場感豊かにお楽しみいただけます。また、窓枠を眺望への影響を抑えた位置に配置するなど設計を工夫し、展望席の後列からも前方の景色を見渡しやすい空間とします。

⑶ 展望グループシート（仮称）

４号車に４名掛けシートを２区画設けます。今回の新型ロマンスカーの特長である、直径約１．８ｍの水の雫をイメージした大きな円形窓に沿って座席を構え、天井から足元付近まで続くこれまでにない眺望をお楽しみいただけます。通路側まで伸びた背もたれが緩やかに空間を区切ることで、適度なプライベート感を保ちながら、ご家族やグループで、列車の両側に広がる景色と特別な時間を共有できる空間となります。

⑷ ゆったりシート（仮称）

１号車、７号車に各２７席、計５４席設けます。約６００ｍｍと国内の鉄道車両では最大級となるゆとりある座席幅とするとともに、周囲の視線を感じにくい立体形状のシートや中央肘掛け、背面テーブル等を採用し、プライベート感と快適性を高めた移動空間を実現します。荷物を多くお持ちの方、お一人で仕事や読書などに集中したい方に加え、小さなお子さま連れの場合も、ゆったりとご利用いただけます。



一般席イメージ



大型円形窓・展望グループシートイメージ
（いずれも仮称）

５　車両概要

・７両編成
・３編成２１両を製造（★）
・ボギー車
・総座席数は３８０席程度（★）
・最前・後部に展望車両を配置し、水の雫をイメージした大型ガラスを採用
・車体カラーは透明感のあるブルーグリーン（★）
・車両連結部には伝統色のバーミリオンオレンジをアクセントとして配置
・車体外板などに水面の波紋を想起させる曲線的なデザイン「ゆらぎ」を採用
・用途や気分により選択ができる複数の座席種別を導入
・沿線の自然豊かな風景を美しく切り取る大型側窓を採用
・お子さまでも景色が見やすいよう、従来よりも側窓位置を低く設定（★）
・４号車には水の雫をイメージした直径約１．８ｍの大きな円形窓を設置（★）
・座席横の窓辺には、波のゆらぎを表現したカウンターテーブルを設置（★）
・特急ロマンスカー・ＶＳＥ（５０００００形）以降で採用する、アーチ状に緩やかな曲線を描くヴォールト天井を継承し、開放感のある車内空間を創出（★）
・箱根登山線へ乗入可能な車両仕様
・ＶＶＶＦインバータ制御装置や主電動機の高効率化による環境負荷の低減（★）
※　特急ロマンスカー・ＧＳＥ（７００００形）比で走行にかかる消費電力量を１割程度削減見込み。
・メンテナンスの省力化が実現できる機器の搭載

６　車両デザイン　株式会社ＣＯＡ一級建築士事務所
　　長曽我部 亮氏　　岡野 道子氏
７　車 両 設 計　日本車輌製造株式会社
８　お問い合わせ　小田急お客さまセンター
　　電話 ０４４－２９９－８２００（９：００～１７：００）
※ 本リリースに掲載している内容は発表日時点のものであり、今後変更となる場合があります。

【参考１】「小田急グループブランドサイト」にて新型ロマンスカーについての新コンテンツ公開
１１月９日（月）１１時から、「小田急グループブランドサイト」において、新型ロマンスカーの開発を担当する当社社員に、新型ロマンスカーに多様な座席種別を導入した背景や、開発に込める思い、新型ロマンスカーが目指す価値などについてインタビューした記事を掲載します。あわせて、デザインを担当するＣＯＡの長曽我部氏・岡野氏が今回特にこだわりを込めたポイントについても紹介します。
ＵＲＬ→https://www.odakyu.jp/group/brand/article/specialissue-011/

【参考２】新型ロマンスカーを含めた歴代ロマンスカーを紹介する特設ページを公開
１１月９日（月）１１時頃から、特急ロマンスカー・ＳＥ（３０００形）から今回の新型ロマンスカー（８０００００形）まで、ロマンスカーのこれまでの歴史をご覧いただける特設サイトを公開します。また、当社社員が撮影したロマンスカーの写真を、壁紙としてご利用いただけるコンテンツもご用意します。
ＵＲＬ→https://www.odakyu.jp/romancecar/sp/

以　上